（議案第2号）　　　　2020年度事業計画書案

特定非営利活動法人　生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会

1　事業の方針

　　　生活習慣病は、がん・脳血管疾患・心疾患・糖尿病・高血圧症・脂質異常症・肥満症等多岐にわたる。生活習慣病の発症には、食事や運動・喫煙・飲酒・ストレス等の生活習慣が深く関与しているが、それら生活習慣は、認知症の発症にも関与している。

生活習慣病は、患者数が多いのみならず、家族を含めた患者さんの生活に多大な影響を及ぼし、さらに死に至ることもあるなど、全国民的課題として、緊急かつ深刻な状況にある。

　　　生活習慣病の予防には生活習慣の改善が不可欠であるが、自覚症状に乏しく、さらに生活改善の取り組みの難しさが大きな課題となっている。さらに、生活習慣構築、健全な心身育成のためには、子どもの頃からの取り組みが強く望まれている。

　　　私たち小象の会は、生活習慣病の予防に取り組み、市民の健康寿命を延ばし、一人ひとりがその人らしく生きることと医療者がそれに協力し支えることを目指し設立された。

　　　当会は、設立の趣旨にのっとり、生活習慣病の発症と進行を防止するため、関係機関と連携し、市民への情報提供、市民と医療者の相互交流を行っているが、事業の推進に当たっては、生活習慣病の知識の普及、理解の深化とともに、生活習慣改善への一人ひとりの取組が重要なことから、取り組みの支援となる活動に配慮するものとし、2020年度は新型コロナウイルス感染症の集団感染予防のため、会報、ホームページ等で情報提供に努める一方、小象の会主催フォーラム、マリンスタジアムでの啓発事業、総会等の人が集まる場の提供は休止ないし最小限の活動とし、感染予防を行う。

2020年度は、（１）から（４）の四つの柱で事業を行うが、特に重点事業として①と②の二点

①千葉日報で連載中の、　小象の「元気！で行こう」　を継続し、広く県民に生活習慣病防止・生活習慣改善の重要性を情報発信する。また、その冊子化を行う。

②スマートライフプロジェクトに参加し、健康寿命延伸に取り組む。

に取り組むことにより、活動の成果を上げる。

近年寄付金が減少傾向にあるなかで事業を絞りつつ、最大限の成果を上げるよう努める。

また、経費の節減に努めるとともに、理解者・賛同者を増やし、会員・団体会員増増及び助成金の確保により必要な事業の財源確保に努める。

　（１）　調査・情報事業

　　　・ホームページやブログの内容を充実させ、会員をはじめ、市民と医療・教育・行政関係者

　　　に向け広く生活習慣病と会の活動に関する情報を発信する。

・ホームページ・メーリングリストを通じ、会員相互のコミュニケーションを深め、生活習慣病の理解と会の活動の活性化を図る。

・　『小象の会会報』（年２回）を作成し、会員、行政機関及び関係団体・報道機関などに配布して、生活習慣病に関する情報提供、会の活動の紹介と会員募集を行う。特に、12月発行の30号は、会創設15周年記念誌として内容の充実に努める。

・千葉日報連載中の「小象の元気！で行こう」の継続、冊子化。

・児童生徒向けの啓発活動をさらに推進する。

（２）講演会等開催事業

・各種団体などからの出前講演・セミナー協力の要請に役員・会員が協力して対応する。

*・*年2回の会主催フォーラムは、新型コロナウイルス感染症集団感染予防のため休止する。　

　（３）　連携・協力事業

　　　・医療関係団体や行政機関・関連団体と連携し、諸会合やイベントに参加して専門的な立場

から情報提供するとともに、意見を述べ、提言を行う。

　　　・生活習慣病に関連する団体の活動を支援するとともに、さまざまな機会を捉えて情報提

供・啓発活動を行う。

　　　・禁煙活動については、東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、さらに企業・行政・関係

団体と協力して推し進め、千葉県医師会の受動喫煙防止キャンペーンに協力するほか、各

種講演活動を積極的に行う。

　　　・千葉県糖尿病対策推進会議が進める千葉県糖尿病療養指導士／支援士（CDE‐Ｃｈｉｂａ）認

定事業及び同会議が推進する１型糖尿病啓発活動に協力する。また、厚生労働省が主導し、

千葉県が推進する糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の予防のための啓発事業に協力する。

　　　・市民の健康にかかわる様々な問題を踏まえて活動する。

　　　・マリンスタジアムでの活動は、新型コロナウイルス感染症集団感染予防のため休止する。

　（４）　関連事業

　　　・SNSなどを利用した情報提供・広報活動の可能性を検討する。

　　　・その一環として、スマートライフプロジェクトに参加し、会員・市民に「運動・食生活・禁煙」の

具体的なアクションを呼びかける。

　　　・また、役員・会員が所属する学会・団体の会議・イベント等に参加して情報提供・広報活動

を行う。

　　　・これまでの活動をまとめ、生活習慣病予防や健康啓発に係る図書等を企画する。その具体

策として千葉日報に連載している　小象の「元気！で行こう」　を一冊の書籍として発行する。

　　　・以上を通じ会の活動を活性化し、会員増を目指す。また、理解者・賛同者を増やし、会員

増・団体会員増と助成金の確保並びに経費の削減に努める。

（参考）新型コロナウイルス予防のため休止・最小限活動とする事業一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業 | 概要 | 詳細 | 事業費（千円） |
| 会主催フォーラム開催 | 2回・休止 | 6月（含む情報交換会）、12月 | ▲168 |
| マリンスタジアムでの活動 | 3回・休止 | 6月、7月、9月 | ▲374 |
| 総会・理事会 | 各1回・最小限 | 出席者最小限。会員には総会での委任状・書面表決に協力を要請 | ▲31 |
| 理事監事協議会 | 8回・最小限 | 原則としてメール等で対応 |

2　事業の実施に関する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業内容 | 時期・場所 | 事業費（千円） |
| 調査・情報事業（注1） | （１）情報提供  ①ホームページ及びブログを活用して会の活動の概況や生活習慣病に関する情報を発信  ②会報の発行　第２９号、第３０号（会創設１５周年記念誌）  第29号では、「集会や外出がしにくい状況での生活習慣病対策」について、小象ニュースを掲載  ③千葉日報に小象の「元気！で行こう」を連載  （第53回～第66回）  ④小象の「元気！で行こう」の冊子化（会創設15周年記念）  ⑤メーリングリスト（会員専用の小象メール）を活用して会員への情報提供・コミュニケーション活性化を検討 | 通年  ６月１２月  通年  通年  通年 | 160  582  ―  500  ― |
| 講演会等開催事業 | （１）出前講演等  行政・関係団体・学校等対象の講演　　　　　　　　　　　　10件 | 随時 | ― |
| 連携・協力事業 | （１）会議・イベントへの参加  ①市民のための糖尿病教室  ②健康ちば地域・職域連携推進協議会  ③CDE‐Chibaフェスティバル  （２）CDE‐Chiba認定試験への協力  ※その他連携・協力事業への参画　　　　　　　　　　　　　 　3件 | 11月千葉市  9月千葉市  10月千葉市  千葉市  県内各地 | ―  ―  ―  ―  ― |
| 関連事業 | （１）広報  ①日刊紙などへの記事提供  ②関連学会での広報  （2）スマートライフプロジェクト（注2）への参加  （3）活動活性化と事業財源確保  ①会員・団体会員増  ②助成金確保  ③経費削減 | 通年  通年  通年  通年  通年  通年 | ー  ―  ―  ―  ―  ― |

（注1）小象の糖尿病通信の新規発行停止（▲108千円）。過去の全通信（8回、42項目）を小象の会ホームページに掲載。

（注2）スマートライフプロジェクトは、厚生労働省が生活習慣の改善、健康寿命の延伸を目的として推進。運動・食生活・禁煙を促す具体的なアクションに取り組む運動。